

公的統計のマイクロデータの利用に関する研究集会
(平成24年度)

厚生労働省が実施する二次的利用について

平成24年11月16日

厚生労働省大臣官房統計情報部 高荷 光春



目次

1. 統計データの二次的利用の概要
 - (1) オーダーメイド集計
 - (2) 匿名データの提供
2. 両サービスの申出件数
3. 厚生労働省ホームページのご紹介
4. 今後の取組

1. 統計データの二次的利用の概要

オーダーメイド集計(統計法34条)

既存の統計調査で得られた調査票データを活用して、行政機関等が申出者からの委託を受け、新たな統計表を集計・作成し、提供する制度。

【利用要件】

- ・ 統計の作成または統計的研究にのみ利用されること
- ・ 学術研究目的または高等教育目的の用に供することを直接の目的とすること
- ・ 学術研究の成果または高等教育目的の内容が公表され、社会に還元されること

オーダーメイド集計

厚生労働省が提供している調査（平成24年10月末現在）

- | | |
|------------------|-----------|
| ◆人口動態調査（出生票、死亡票） | 平成19年～21年 |
| ◆医療施設（静態）調査 | 平成20年 |
| ◆患者調査 | 平成20年 |
| ◆毎月勤労統計調査特別調査 | 平成21年～23年 |
| ◆賃金構造基本統計調査（個人票） | 平成18年～23年 |

平成24年9月3日より、平成21年～23年のオーダーメイド集計を開始

- ※1 提供する年次は、今後も拡大予定
- ※2 仕様も開始以降拡大され、現在提供次元数は最大5次元（人口動態調査、医療施設（静態）調査、患者調査）と最大9次元（毎月勤労統計調査、賃金構造基本統計調査）

留意事項

- 各対象調査について提示された仕様・分類項目の中から選択するセミオーダー集計です。
- 集計の工数に応じた手数料がかかります（5,900円～）



最近の研究事例の概要

～東京都23区における孤独死の社会疫学的分析に関する研究～

かなわく
防衛医科大学校 法医学講座 金涌 佳雅 助教

・目的：

東京都23区における孤独死の実態把握及び社会疫学的問題を明らかにし、都・区の孤独死政策立案等に資する基礎資料の作成。

・内容：

・ 自宅で死亡発見された人を孤独死として、区ごとの孤独死数・率等の統計表を作成、孤独死率・失業率・単身世帯者割合などの地域行政基礎データとの相関分析。

・ 死因別孤独死数を集計、厚生労働省オーダーメイド集計を委託し死因構造を比較検討。

• 主な結果：

- 男女とも孤独死は年々増加傾向にあり、男性では失業率や離別・死別者割合と正の相関性があった。
- 一般集団と比べ、男女とも循環器疾患や自殺の他、特に男性ではアルコール性肝疾患での死亡割合が多いことが特徴的だった。


• 研究の成果：

孤独死リスクの高い性・年齢・区・罹患傷病を絞り込み、効果的な孤独死予防対策が可能になると考える。

オーダーメイド集計手続の流れ

【 申出者 】



利用したい統計表が
 がない。

【 厚生労働省 】



希望する統計表について利用相談

分類一覧から、作成を希望する統計表の仕様を決定

委託
申出書

提出

受付、審査

依頼書


諾否、手数料額の通知

受理、確認

提出、納付

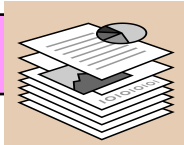
分析

統計表の提供

統計表の作成



成果の
公表



利用
実績
報告書

提出

受理、確認

匿名データの提供（統計法36条）


調査客体が特定されないように加工を施した上で、利用申出を行った申出者に対して匿名データを提供（貸与）する制度。

【利用要件】

- ・ 統計の作成または統計的研究にのみ利用されること
- ・ 学術研究目的または高等教育目的の用に供することを直接の目的とすること
- ・ 学術研究の成果または高等教育目的の内容が公表され、社会に還元されること
- ・ 匿名データが適切に管理されること

匿名データ

厚生労働省が提供している調査（平成24年10月末現在）

調査名	年次	データ名	レコード数	提供開始時期
国民生活基礎調査	平成13年	データA	116,133	平成24年5月 
		データB	21,301	
	平成16年	データA	99,299	平成23年9月
		データB	16,070	

※データAは世帯票、健康票を接続したデータ、データBは、世帯票、健康票、所得票、貯蓄票を接続したデータです。

※提供する年次は、今後も拡大予定

詳細は厚生労働省ホームページ
をご覧ください。

国民生活基礎調査

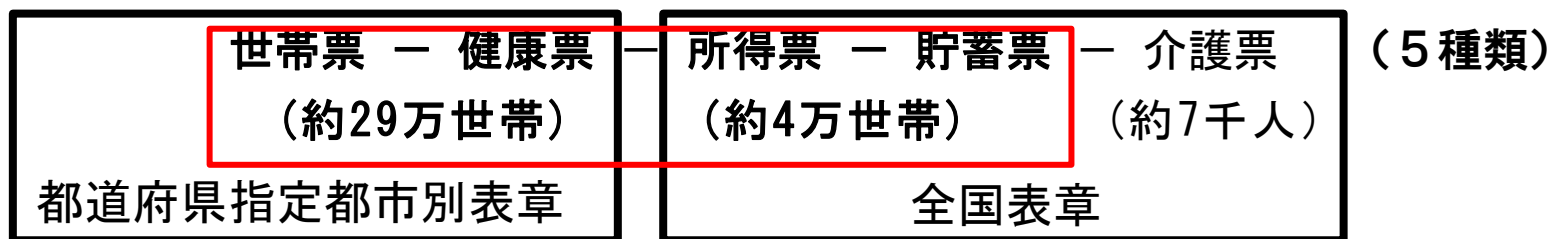
1 調査の目的

保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働省の所掌事務に関する政策の企画及び立案に必要な基礎資料を得る。

2 調査の周期

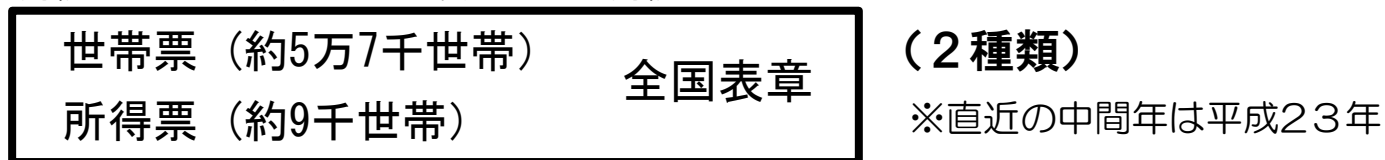
昭和61年以降毎年実施

(1) 大規模年：3年毎に大規模調査を実施 ⇒ **匿名データ化**



※直近の大規模調査年は平成22年

(2) 中間年：大規模調査の中間の2年間に小規模調査を実施



調査項目

- 世帯票:** 性、出生年月、世帯主との続柄、配偶者の有無、公的年金・恩給の受給状況、住居の状況、家計支出額 等
- 健康票:** 傷病の状況、通院・通所の状況、悩みやストレスの状況、健康診断受診状況 等
- 所得票:** 所得の種類別金額、課税等の状況、生活意識の状況 等
- 貯蓄票:** 貯蓄現在高、貯蓄の増減の状況、借入金残高

匿名データの利用実績

調査名	申出者	研究の名称
国民生活基礎調査	大学教授	健康状態と喫煙に関する統計的研究
	大学院生	Effects of Family Member Mental Illness on Labor Supply: An Empirical Study for Japanese Family
	大学教授	少子高齢者対策に関する研究
	大学院生	経済社会要因と自殺、そのプロセスに関する研究
	大学准教授	独居高齢者の健康状況および健康管理の実態把握に関する研究

※執筆中の論文を含む

最近の研究事例の概要

～健康状態と喫煙に関する統計的研究～

厚生指標（2012年11月号掲載予定）

藤田保健衛生大学医学部 橋本 修二教授

- ・ **目的**：健康状態と喫煙の関連を解析。
- ・ **内容**：統計法36条に基づき、厚生労働省から匿名データの提供を受け、健康状態の「自覚症状」、「通院状況」、「日常生活への影響」、「健康意識」を分析。
- ・ **方法**：匿名データAにより喫煙状況の得られた20歳以上の73,110人において、健康状態の調査項目ごとに喫煙のオッズ比をロジスティック回帰分析（年齢を調整）。

● 主な結果

項目		オッズ比	
自覚症状の有無	全てに症状あり	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	1.5以上
	いずれかの症状あり	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	男1.62 女2.34
通院状況	複数の傷病で通院あり（全13傷病）	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	男 1.5以上（6傷病） 女 1.5以上（12傷病）
	いずれかの傷病で通院あり	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	男1.58 女2.42
日常生活へ影響の事柄	複数の項目で影響あり（全5活動）	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	男 1.5以上（4活動） 女 1.5以上（5活動）
	いずれかの項目で影響あり	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	男1.58 女2.42
健康意識	良くない	たばこを吸わない	1.0
		たばこを吸っている	男1.57 女2.23

● **結論：** 健康状態の多くの面に対して、喫煙が強く関連することが確認された。

匿名データ利用手続の流れ

【 申出者 】



個票を利用して、報告書にない分析をやりたい。

利用方法、申出書の記載内容等について相談

提供
依頼
申出書

提出

受付、審査

依頼書

諾否の通知

提出、納付

受理、確認

集計・分析

匿名データの提供（貸与）

成果の
公表

適正に
管理

匿名データ、中間生成物を消去

利用
実績
報告書

データ
消去等
報告書

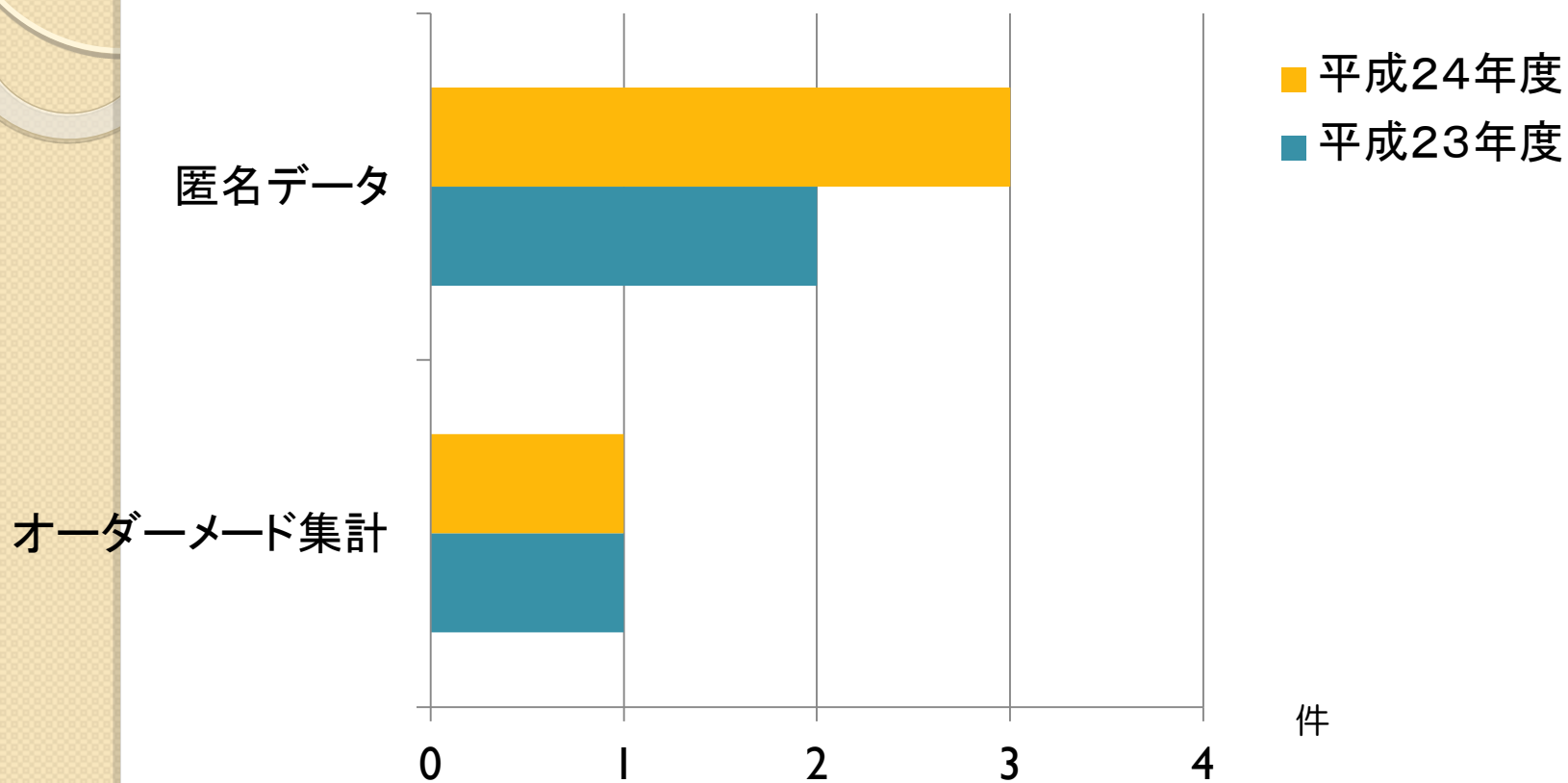
提出、返却

受理、確認

【 厚生労働省 】



2. 両サービスの申出件数



※平成24年度は、平成24年10月末現在

3. 厚生労働省ホームページのご紹介

- ・平成24年5月末リニューアル
- ・提供可能な調査、申出手続、Q&A、問い合わせフォーム等を掲載

ホーム > 統計情報・白書 > 各種統計調査 > 統計情報をご利用の方へ > オーダーメイド集計及び匿名データの提供 > 匿名データの提供について

匿名データの提供について

1 匿名データの提供とは

匿名データとは、行政機関等が統計法に基づいて実施した統計調査によって集められた調査票情報を、特定の個人又は法人その他の団体の識別(他の情報との照合による識別を含む)ができないように加工したものをいい、行政機関等は学術研究及び高等教育の発展に資すると認める場合に、一般からの求めに応じて提供するサービスです。

2 現在利用が可能な匿名データ(各サービスは次年度以降も実施)

調査名	年次	調査の概況等	データレイアウト及び符号表	レコード数	提供開始
国民生活基礎調査	平成13年	● 調査の概況 ● 調査票	データA (EXCEL:225KB)	116133	平成24年5月
			データB (EXCEL:242KB)	21301	
	平成16年	● 調査の概況 ● 調査票	データA (EXCEL:277KB)	99299	平成23年9月
			データB (EXCEL:287KB)	16070	

- 統計情報・白書
- 各種統計調査
 - 統計調査実施のお知らせ
 - 最近公表の統計資料
 - 厚生労働統計一覧
 - 統計要覧一覧
 - 統計情報をご利用の方へ
- 白書、年次報告書

オーダーメイド集計
・匿名データ提供

政府統計の
統一ロゴタイプ

「厚生労働省ホームページ」→
「統計情報・白書」→「各種統計
調査結果」の右側バナー表示より
お入りください。

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itaku/>

・ホームページでは、オーダーメイド集計に関するアンケート調査を実施しておりますので、ご協力をお願いいたします。

4. 今後の取組

両サービスについて、提供状況やニーズ等を踏まえ、対象年次の拡大に向けて準備

- ・ より新しいデータの提供
- ・ 古いデータを含む長期の時系列データの整備

ご静聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

厚生労働省 大臣官房統計情報部 企画課審査解析室

委託統計係（オーダーメイド集計）

匿名データ提供係（匿名データ）

E-mail:nijitekiriyou@mhlw.go.jp

賃金構造基本統計調査のオーダーメイド集計については、

独立行政法人統計センター 製表部 統計作成支援課

利用審査担当 E-mail:nijiriyounstac.go.jp